

北見武道通信

令和6年3月21日 00683号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

ニュー
スレター
【事務
局情報】

北見練
心会が
卒団式



3月16日(土)市武道館を利用する北見練心会少年部の卒団式が行われました。午後2時、全員が武道館に集合し、稽古が行われた後、中学2年生とのお別れ試合が企画されるなど、思い出に残る卒団式の内容です。中学3年まで柔道が続けた子どもたちの中には10年以上も続けた子もいます。西尾静男指導部長からは「継続は力なり」の

盾が卒団生6名(元木さきえ、田中香鈴、吉田瑛祥、岡崎汰雅、森谷好誠、木村虎之将)に贈られました。卒団生から後輩に「辛いこともあるけれど、続けていてよかったと思うときが必ず来るので、皆も頑張ってもらいたい」と励ましのことばがおくられ、後輩からも、寄せ書きカード入りの記念品が手渡されるなど終始なごやかな卒団式となりました。〈佐藤〉

連載 中国「老子」の思想 二十五章 人間の偉大さ

天地が生ずる以前に、すでにある物が存在した。その物は、混沌として形容しがたく、感覚で捉えることはできない。他に依存せぬ独立の存在で、そのはたらきは時間空間を超越して止むことがない。これが天地の母である。

この物は、限定できないから、名づけられない。かりに名づけて「道」とよぶ。だが、ひとつのことばではいいつくせない。それが偉大であるゆえに、強いて名づけて「大なるもの」といおう。この大なるものは、どこまでも行きわたって止(とど)まらないから、「逝(ゆ)くもの」といおう。この逝くものは、無限の過去から無限の未来へわたるから、「遠いもの」といおう。この遠いものは、常に反対の状態へと移行することによって無限の動きを保つから、「反(かえ)るもの」といおう。「道」は大なるものである。そして、この「道」の現れである「天」も大である。「地」も大である。「道」を認識する「人」も大である。宇宙間の四大において、「人」はその一を占めているのである。「人」は大なるものであるからには、その大の根元である「地」と一体化し、「天」と一体化し、「道」と一体化し、「道」に内在する「自然」の妙理と一体化することができるのである。

原文:有物混成、先天地生。寂兮寥兮、獨立而不改、周行而不殆。可以爲天下母。吾不知其名。字之曰道。強爲之名曰大。大曰逝。逝曰遠。遠曰反。故道大。天大。地大。王亦大。域中有四大、而王居其一焉。人法地、地法天、天法道、道法自然。 二十六章に続く